

教科名	家庭	学 年	1	週時間数	1
使用教科書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 （東京書籍）				
副教材等	食育ドリル（予定） ◇教科書，ファイル（アイボリー），chromebook を毎回持参しましょう				

教科 の目 標	○家族・家庭の機能について理解を深め，家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解をし，それらに関わる技能を身につけることができる。 ○家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなど，これからの生活を展望して課題を解決する力を養うことができる。 ○自分と家族，家庭生活と地域との関わりを考え，家族や地域の人々と協同し，よりよい生活の実現に向けて，生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身につけることができる。			
	○より良い生活をしていくために，生活に必要な知識や技術を理解し，実際の生活の中で様々な課題を解決する方法を学びます。 ○実習は班で協力して進めます。その過程で工夫し，創造する能力や物を作る技術を習得します。レポートにまとめるので期日までの提出があります。 ○授業はワークシート（プリント）を使用します。家庭科ファイルチェックや宿題があります。自分で調べたりしながら完成させ，期限を守って提出しましょう。			
授業 の進 め方				
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価	つ け たい 力	○家庭の基本的な機能及び家庭について理解している。 ○生活に必要な衣食住について理解し技能を身に付けている。	○生活課題について他の生活事象と関連付け，多角的に捉え，解決策を考えることができる。 ○実習や観察，調査，交流活動の結果等について，考察し，論理的に表現することができる。 ○他者の意見との相違点や共通点から，計画・実践について評価・改善することができる。	○地域の人々と関わり，協働しようとする態度を養っている。 ○生活を楽しみ，豊かさを味わい生活をよりよくしようとする態度を養っている。 ○日本の生活文化を継承しようとする態度を養っている。 ○将来の家庭生活や職業との関わりを考え学習に取り組むことができる。
	方 法	・定期テスト ・実習・課題の取り組み方 ・作品 ・ワークシートの内容	・定期テスト ・ワークシートの内容 ・実習・課題の取り組み方	・定期テスト ・ワークシートの内容 ・実習・課題の取り組み方
	学 習 の ポ イ ン ト	○生活に必要な知識を覚え，技能を身に付けよう。	○生活課題について，調べ学習をしてわかったことや，学習した知識や技能を利用し，解決できるように考えていきましょう。	○自ら課題を見出そうとし，意欲的に取り組みましょう。 ○話し合い活動等を通じて，仲間の考えを尊重したり，考えを比較したりして，自分の考えを深めましょう。
	家 庭	○学習した内容と生活の中の事象を結びつけたり，生活の中に取り入れたりしましょう。 ○実習の前は，計画を立て，手順などをしっかり確認して臨むようにしましょう。 ○社会の様々なことに関心を持ち，生活に関するテレビの特集や新聞・雑誌を見ましょう。 ○長期休みには課題が出ますので，手順をよく確認して取り組みましょう。 ○レシピ集の課題があるときは取り組みましょう。		
定期 テス ト範 疇	1 学期中間(5月下旬頃)			
	1 学期期末(6月下旬頃)		健康と食生活 何をどれだけ食べたらよいか	

Ⅷ	2 学期中間(9 月下旬頃)	
	2 学期期末(11 月下旬頃)	私たちの食生活 調理と食文化 私たちの衣生活 (一部)
	学 年 末(2 月下旬頃)	1 年間で学習した全範囲

学期	月	単元	学習のねらい	おもな学習内容
1	4	・ 食事の役割と中学生の栄養の特徴 ・ 中学生に必要な栄養素を満たす食事	・ ガイダンス ・ 食事の役割を考えよう ・ 栄養素の種類と働きを知ろう	・ 食事の役割 ・ 健康に良い食習慣 ・ 生活習慣病・朝食 ・ 栄養素の種類と働き
	5		・ 中学生に必要な栄養の特徴を知ろう ・ 食品に含まれる栄養素を調べよう	・ 中学生に必要な栄養素 ・ 食品と栄養素
	6		・ 1 日に必要な食品の種類や概量を知ろう	・ 6 つの食品群 ・ 食品群別摂取量のめやす
	7		・ 1 日分の献立を考えよう ・ お弁当づくりのポイントを知ろう ・ お弁当の献立作成をしよう	・ 中学生の 1 日分の献立 ・ お弁当のポイント ・ お弁当の献立
2	9	・ 日常食の調理と地域の食文化 ・ 衣服の選択と手入れ ・ 生活を豊かにするために	・ 日常食の調理 ・ 調理の基礎を知ろう	・ 調理器具の使い方
	10		・ 食品を適切に選択しよう ・ 簡単な日常食の調理ができるようになろう ・ 調理実習 (予定)	・ 野菜・いもの調理 ・ 肉, 魚の調理
	11		・ 衣服の役割	・ 日本の食文化と和食の調理
	12		・ 製作の基礎技能	・ 衣服の役割 ・ TP0 ・ 和服 ・ 布を使った作品の製作 ・ 待ち針 ・ 並縫い
3	1	・ 生活を豊かにするために	・ 基礎的な手入れと補修の技能を身に付けよう	・ しつけ ・ 半返し縫い ・ 本返し縫い ・ ボタン付け
	2			
	3			

教科名	英語	学 年	1	週時間数	4
使用教科書	「NEW HORIZON English Course 1」(東京書籍)				
副教材等	「EIGO NO PARTNER 1 English Workbook」(正進社)「StartUp! Penmanship」(浜島書店) 「基礎をきづく」(浜島書店)				

教科の目標		○はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。 ○日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。 ○関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。 ○関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて話すことができる。 ○関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。		
授業の進め方		○日常のあいさつや、簡単な会話を毎回授業の中に取り入れます。英語の基礎となるアルファベットをしっかり書く練習を行います。音読を用いた活動を繰り返し取り入れ、単語や表現の定着を図ります。 ○授業は教科書だけでなく、ペアワークなど様々な授業形態・方法を取り入れ、仲間同士の学び合い学習を進めます。 ○A L Tを交えた授業を定期的に行います。 ○定期テスト以外にも小テストを行います。		
観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価	つきたい力	○英語の特徴や決まりに関する事柄を理解している。(知識) ○「話すこと」、「書くこと」において、事実や自分の考え、気持ちなどを表現したり伝えあったりする技能を身に付けている。(技能) ○「聞くこと」、「読むこと」において、話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている。(技能)	○「話すこと」、「書くこと」において、場面や状況に応じて、事実や自分の考え、気持ちなどを表現したり伝えあったりしている。 ○「聞くこと」、「読むこと」において、話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして場面、状況などに応じて、必要な情報や概要、要点などを捉えている。	○主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○「話すこと」、「書くこと」において、場面や状況に応じて、事実や自分の考え、気持ちなどを表現したり伝えあったりしようとしている。 ○「聞くこと」、「読むこと」において、話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして場面、状況などに応じて、必要な情報や概要、要点などを捉えようとしている。
	方法	○授業における学習態度 ○小テスト ○定期テスト ○各種パフォーマンステスト	○授業における学習態度 ○小テスト ○定期テスト ○各種パフォーマンステスト	○授業における学習態度 ○小テスト ○各種パフォーマンステスト ○提出物
	授業	○「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」において、必要な単語や文法事項を覚えよう。	○「話すこと」、「書くこと」において、場面や状況を意識して、表現したり伝えあったりすることを大切にしよう。 ○「聞くこと」、「読むこと」において、話されたり書かれたりする文章等の必要な情報や概要、要点などを捉えよう。	○「話すこと」、「書くこと」において、場面や状況を意識して、表現したり伝えあったりすることを大切にしよう。 ○「聞くこと」、「読むこと」において、話されたり書かれたりする文章等の必要な情報や概要、要点などを捉えよう。
	家庭	○ノートを使って、単語や基本文を声に出しながら、何度も発音しながら書いて覚えよう。 ○ワーク、プリント、単語練習など、出された宿題を忘れずに取り組もう。 ○単語テストや定期テストに向けて、毎日コツコツと勉強に取り組もう。 ○映画や音楽など普段から英語に関心を持ち、英語に触れる機会を増やそう。		
定期テスト範囲(予定)	1 学期中間(5月下旬頃)	Unit 0 , Unit 1 , Unit 2 , Grammar for Communication 0		
	1 学期期末(6月下旬頃)	Unit 3 , Unit 4, Grammar for Communication 1, Grammar for Communication 2 Grammar for Communication 3, Stage Activity 1		
	2 学期中間(9月下旬頃)	Unit 5 , Unit 6 , Real Life English 1, Real Life English 2, Grammar for Communication 4		
	2 学期期末(11月下旬頃)	Unit 7 , Unit 8 , Grammar for Communication 5, Grammar for Communication 6, Real Life English 3, Real Life English 4 , Stage Activity 2		

	学 年 末(2月下旬頃)		Unit 9 , Unit 10, Grammar for Communication 7, Grammar for Communication 8, Real Life English 5, Real Life English 6, 1 年生学習範囲すべて	
学期	月	単元	学習のねらい	おもな学習内容
1	4	Unit 0 Nice to Meet You Grammar for Communication 0 Unit 1 Hello, Everyone!	・小学校で習った表現を使ったり、単語を読んだり書き写したりすることができる。 ・自分がふだんよくすることや、できることを伝えることができる。 ・身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。	・場面の表現・英語の音と文字 ・英語の語順 ・be 動詞・一般動詞 ・can の文
	5	Unit 2 Our New Teacher Grammar for Communication 1 Unit 3 Our school Grammar for Communication 2	・いつ・どこなのかをたずねたり、数をたずねたりすることができる。	・疑問詞を使った疑問文① ・前置詞
	6	Unit 4 Friends in New Zealand Grammar for Communication 3	・相手に指示したり、時刻や好きなものをたずねたりすることができる。	・疑問詞を使った疑問文② ・命令文
	7			
2	9	Unit 5 My Brother in Hawaii Real Life English 1 Grammar for Communication 4 Stage Activity 1	・自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。 ・コマーシャルを聞き、必要な情報を聞き取ることができる。	・三人称単数現在形 (肯定文・否定文・疑問文) ・Why don' t you~?
	10	Unit 6 A Rakugo Performer from the U.K. Real Life English 2 Grammar for Communication 5	・自分と相手以外の人について話したり、どちらなのか、だれのものかをたずねたりすることができる。 ・身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。	・人称代名詞(目的格) ・Whose …? ・Which …(, A or B)? ・Can I …? Can you …?
	11	Unit 7 An online Tour of the U.K. Real Life English 3 Grammar for Communication 6	・今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。 ・徒歩での道順をたずねたり、教えたりすることができる。	・現在進行形 (肯定文・疑問文) ・感嘆文 ・I' m looking for …. — Go along this street. Turn left at ….
	12	Unit 8 Think Globally, Act Locally Real Life English 4 Stage Activity 2	・したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。 ・レストランなどで、注文をしたり質問に答えたりすることができる。 ・好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりすることができる。 ・過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができる。	・want [try] to ・What do you want to …? ・look+形容詞 ・What would you like? — I' d like …. Would you like …? — Yes, please. [No, thank you.] ・一般動詞の過去形 (肯定文・否定文・疑問文) ・規則変化動詞の過去形 ・不規則変化動詞の過去形
		Unit 9 Winter Vacation Grammar for Communication 7		

3	1	Real Life English 5	・ 旅先からの絵はがきを書くことができる。	・ 一般動詞の過去形
	2	Unit 10 This Year's Memories Real Life English 6 Grammar for Communication 8 Stage Activity 3	・ 過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことについて説明することができる。 ・ 症状やこれまでの出来事などを伝えることができる。	・ be 動詞の過去形 ・ 過去進行形 ・ There is ... / Is there ...? ・ What's wrong? — I have ...
	3	Let's Read	・ 思い出に残った出来事について発表することができる。 ・ 物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。	・ 既習事項の総復習